質問①

町内の街路灯について



鈴木隆議員

問 町内会街路灯も含めて町内街路灯の調査点検の状況はどうなっているか。

答 町が直接管理している街路灯は５０８基、自治会等が管理している街路灯は５４９基、合わせて１，０５７基設置されています。調査点検については、町が管理するものは管理する担当課において定期的に点検を行い、自治会が管理するものはそれぞれ所有する自治会が管理を行っているところです。

問 平宇地区の住民の方からうちの前に街路灯を付けてほしいと要望がありましたが、自治会に入ってないから無理と言われているそうですが、私が現場を見た限りでは町内町道に面しているのでこれはつけてやってもいいのではありませんか。夜はあまりに暗くて実際、熊と遭遇したこともあるそうですが。

答 自治体に管理点検を任せているのですが防犯灯という観点からの不満不具合があるかどうか後でお知らせしていただきながら、検討してみたいと思います。

問 老朽化した街路灯の撤去新設又居住者のいなくなった街路灯とか、設置を望んでいる居住者等への対応はどうなっているか。

答 町が管理するものは、各所管課へ申し出て頂ければ対応します。自治会等で管理している部分については、新設改修等は、各自治体等からの地域要望に基づき実施している。

問 浦河町では環境省の補助金を使って町内全ての街路灯をＬＥＤ化していると聞いていますがわが町でも検討する考えがありますか。

答 調査したところ、現在街路灯のＬＥＤ化に対する補助制度がない状況にありますが国の動向を見極め、街路灯のＬＥＤ化について前向きに検討していきたい。なお町が管理する街路灯は６３９灯中、１８１灯がＬＥＤ化している。率にすると28％である。自治会等が所有する街路灯については不明。

質問②

町内の公共トイレの状況について

問 シーズンを通して開放しているトイレは何か所あるのか。設置場所、和式、洋式、ウオッシュトイレ等の設備状況はどうなっていますか。

答 別添資料に比較的不特定多数の方が利用しやすいトイレをまとめてあります。町内13か所に設置し、設備内容も表のとおりとなっています。

問 シーズンを通して開放しているトイレはどうなっているか。

答 駅前さわやかトイレと汲み取り式の登山口トイレだけです。

問 将来に向けて、洋式トイレ、ウオッシュレットトイレは当たり前の改良工事を行う、実施の計画はあるのか。

答 町内設置のトイレについては改修の機会がありましたら、より使いやすい形へ改修することは必要だと考えています。和式から洋式への改修につきましては、現状では比較的利用者が多いと考えられるトイレについては男女とも洋式便座が使えない場所は少ない状況ですので、そのトイレの改修時期に合わせて利用状況を見ながら対応していきたい。

問 私の出身地である青森県の鰺ヶ沢町ですが先般、帰省したら、道の駅のトイレが内も外も全てウオッシュレットトイレに改修されていました。とても清潔感があって奇麗になっていました、町の文化水準の高さが感じられます。是非様似町でも町民にも優しく観光客にも優しい街になってほしい思いですがいかがでしょうか。

答 今後のトイレ改修の際に利用頻度などを見て検討していきたい。

質問③

野生動物の現状と森林・農作物・牧草等への被害状況について

問 令和3年度の野生動物の駆除数と経費は。（直近の数字で、お願いします。）

答 ヒグマ３頭、エゾシカ１，２９４頭、キツネ30頭、アライグマ35頭、タヌキ21頭、カラス17羽。経費は総額１９，２５５千円です。

問 野生動物が与えた森林・農作物・牧草等の被害状況・被害金額は。

答 令和2年度は、面積で２００．５ｈａ、被害金額で約１千４百万円。牧草が96％、その他４％（イチゴなど）の被害となっております。

問 過去5年間での駆除に関わる経費は１３３，２００，４５７円となり、様似町の一般財源からの支出は平均すると毎年、１７，３４３，６９１円となりますが、これは未来永劫続けていくつもりなのか。

答 有害鳥獣の駆除事業を実施している状況でありますし、複数の自治会からの要望事項でもあるので今後も被害対策に取組んで行く考えであります。

質問①

空き家、空き地バンク制度の現状について



橋爪伸恵議員

問 登録件数の推移と成約件数、成約率を教えてください。

答 本制度が開始された平成30年度は家屋８件、内６件が成約、成約率75％。内町外の方３件、現在１件の方が町内在住。令和元年度は家屋４件土地３件。家屋４件土地１件成約、家屋１００％土地33％の成約率。内町外の方３件で現在も町内在住。令和２年度は家屋２件成約率１００％。町外からの転入はなし。令和３年度は家屋６件、内１件は倉庫。土地３件。現在まで家屋１件成約で成約率17％。町外の方が転入されています。制度開始以来家屋の登録20件、内成約13件、成約率65％、土地６件、内成約１件、成約率17％となっています。

問 空き家空き地バンク制度要綱の第４条４に、町長は当該所有者に対して当制度の登録申請を要請することができるとありますが、実際要請したことはありますか？

答 現在まで要請件数は０件です。

問 目的に沿った効果が出ているか、改善点があるのか、見解をお聞かせください。

答 少ないながらも町外からの購入があり定住に結びついているので、効果が出ていると考えています。登録申請要請の実績がないなど、運用に当たって改善すべき点が出てきた場合は、改善を行っていきたいと考えています。

問 第９次様似町総合計画に、平成28年度調査時１６６戸の空き家、内80％は入居可能とあります。これについて、役場からの働きかけはまだない、という理解でよろしいですか？

答 おっしゃるとおり今のところ町の方から働きかけているということはありません。

問 空き家空き地バンク制度が移住促進ツールだとは考えていませんが、空き家対策、移住促進も、人口の減少を抑え町を活性化させるという観点から、行政がひとつになって活動して頂きたいです。来年度に向けた見解を町長にお聞きします。

答 難しい問題ですが、おっしゃるとおり総合計画の中に人口減少への対応、また住み続けられる町、住みやすい町作りについて取り組んでいきたいと選挙の公約にもあげさせて頂きました。最終的に私も様似の町で生涯を閉じるわけですが、その時によかったなと、幸せだと思える町作りに、本当にこれから取り組んでいきたいと思いますす。まずは住んでいる方々がどう思うか、そこから住みやすい町作りをし、それを見て入って来られるような体制を作るのが一番かと思っております。今後ともご協力の方よろしくお願いします。

質問②

小学校における英語教育の現状と課題について

問 ＡＬＴの先生が８月以降不在になっていますが、生徒へのデメリットという点でお聞きします。

答 ＡＬＴ（外国語指導助手）は、外国語担当教員の助手として職務に従事するもので、子供たちが生の英語を直接耳で聞けないというのがデメリットです。ＩＣＴ機器を用いた学習教材を活用し、外国人が話す英語を聞くなどして対応しています。

問 他の教職員への負担、また学校側は不在をどうカバーしているかお聞きします。

答 様似小学校には現在英語の免許状を所有している教員が5名おり、ＡＬＴが残していった教材を活用しながら分担し業務を担っています。学校側は特定の教員に負担が掛からないよう配慮していると聞いております。

問 様似町の児童生徒への英語教育に、数値目標はありますか？

答 特に数値としては持っておりませんが、学習指導要綱も変わっており、英語でコミュニケーションを図ることができる基礎的な力を、中学校３年生までに作り上げていくというのが重要だと捉えております。

問 子供たちが英語を話せるようになることは、様似町民皆の願いだと思います。数値目標がないとしても、効果を何らかの形で目に見えるよう取り組んで頂けると、父兄も、子供のモチベーションも上がると思います。教育長の見解はいかがですか？

答 英語の取り組みは、質の向上を考え、保護者、町民の皆様にも発表し見せる場というのを工夫しながら、やっていければいいと思っています。